

# かがやき

発行日 平成29年3月1日  
 発行者 西中学校区人権学習推進委員会  
 事務局 倉敷市倉敷西公民館  
 倉敷市八王寺町199-3  
 E-mail ph-kuranishi@kurashiki-oky.ed.jp  
 http://www.kurashiki-oky.ed.jp/ph/kuranishi

## 人権作品表彰式

12月4日(日)、西中学校区の児童・生徒が取り組んだ人権に関する作文・標語・ポスターの優秀作品表彰式を行いました。

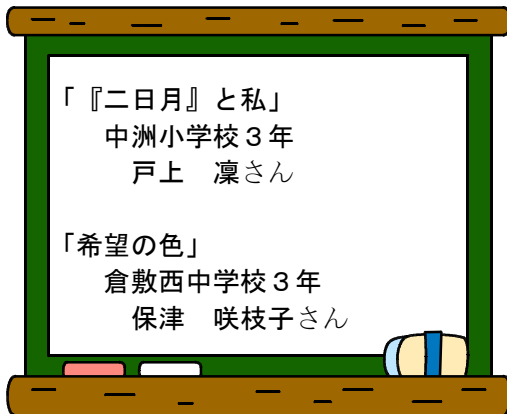
本年度は、各学校で厳選された55点の作品の応募がありその中から、10点の優秀作品を選びました。

表彰式では、子どもたちが大勢の保護者や地域の方々の前で、心を込めて朗読したり作品への思いを発表したりしました。

また出席できなかった児童・生徒からのメッセージも紹介しました。



### 【作文の部】



### 【ポスターの部】



老松小学校1年 三野 琴音さん



老松小学校4年 荒木 美紅さん



西中学校3年 井上 のどかさん

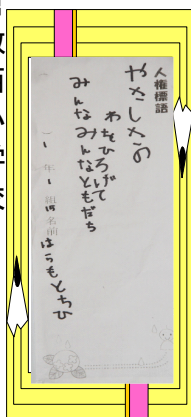


中洲小学校6年 渡邊 美悠さん

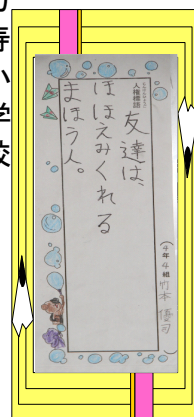


### 【標語の部】

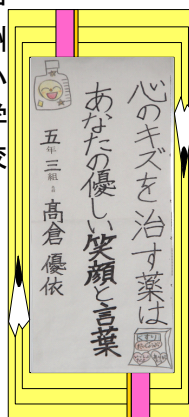
倉敷西小学校  
 一年 原本 知姫さん



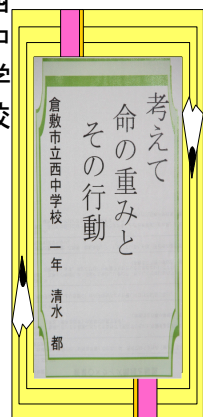
万寿小学校  
 四年 竹本 優司さん



中洲小学校  
 五年 高倉 優依さん



西中学校  
 一年 清水 都さん



# 老松ふれあいフェスタ

10月22日(土)、老松小学校で「老松ふれあいフェスタ」が行われました。今年はいにくの小雨模様でしたが、体育館内でのバザーに加え、運動場では模擬店が出店されました。

老松ふれあいフェスタは老松小学校PTA主催の行事ですがPTAのほかにおやじの会、倉敷工業高校、少年野球チーム、老松小の先生、有志の方々による出店がありました。食べ物やゲームの模擬店だけでなく、スライムやはんこ作りなどのコーナーもあり、日頃できないことを新たに体験することが出来ました。

バザーでは友愛セールの商品のほかに手作り品も出品され、早朝7時からバザー品販売会場への整理券を求めて人が並ぶなど、大盛況でした。おいしい食べ物や楽しいゲームなどの模擬店では、出店されている方々と参加者の会話がはずみ、温かい雰囲気につつまれていました。子どもたち、保護者の皆様、そして、地域の皆様の笑顔があふれる一日となりました。



## 【参加者の感想】

このような行事は年齢を超えて楽しむことが出来ます。子どもたちとも一緒に楽しむことが出来ました。

# 中洲学区民祭



10月10日(月)、体育の日に、第47回中洲学区民祭がイオン倉敷イオンホールで開催されました。

開会式では伊東市長が来賓あいさつで会に花を添えてくださいました。

また、中洲学区で活動している団体の歌や踊り、マジックなどの発表がありました。発表している方々の家族や地域の方々も手拍子をしながら楽しんでいました。

約1,200人の参加者の中には、小学生のダンスチームに加えて、今回から初めて中学生も発表し、今まで以上に盛り上がった学区民祭でした。



## 【参加者の感想】

- 小学生や中学生の元気の良い発表を見て元気をもらいました。また、発表を見て、近所の人々の意外な面を知ることが出来ました。
- 楽しい時間を過ごすことが出来ました。私も何かやってみようと思いました。

## 推進委員研修会



# 人権すごろくトーク

12月4日(日)、市が開催した推進委員交流会で学んだ「人権すごろくトーク」を行いました。5、6人ずつの班に分かれ、サイコロを転がして出た目の数だけコマを進めて止まったマスに書かれている話題について話をします。「うれしかったこと」「あなたのよいところ」「家での役割は？」などの話題があり、同じ班の人からの質問を受けたり同感してうなずき合ったりしながら、すごろくを進めていきました。

「隣の人と握手」や「まわりの人とハイタッチ」というマスもあり、和気あいあいと交流を深めながら人権について考えるよい会となりました。



## 老松保育園

# 子育ては楽しくありのままに



6月7日(火)、保育参観後に川崎医療短期大学特任講師の大江由美先生をお招きして、保護者の方を対象にふれあい会館で講演会を行いました。

～子育ては、隣の子どもと比較しないで、宝物のわが子だけ～  
抱っこすること(子どもを受け入れること)、言葉の魅力(ほめ上手になりましょう。美しい言葉は心にやどる)、子どもとの時間を大切に(5分でも10分でもスマホの手を止め、子どもが話をしている時には目と心をもって聴く、接することの大切さ)等。目から鱗が落ちるように子育ての大切さに気付くことが出来ました。

### 【保護者の感想】

今の子どもへの関わりが、20～30年後に返ってくることを知りました。普段の関わりを見直すきっかけになりました。しっかり目を見て、触れて、今しかない育児を楽しんでいきたいと思いました。



## 西中学校

# 『西中スマホ十か条』でネットモラルを身につけよう!

西中学校では「倉敷NO. 1の西中にしよう」という目指す生徒像を設定し、4つの重点項目を掲げています。その中の1つに「優しさNO. 1」があり、いじめや暴力を許さない風土の育成に力を入れています。

いじめの中でも、最近ではラインなど、ネット上のトラブルが急増しています。生徒会執行部では、「OKAYAMAスマホサミット」や「倉敷子どもミーティング」に積極的に参加し、各学校の代表者と意見交換を行いました。その中でネット上でのトラブルを未然に防止するために自分たちに出来ることはないかと考え、次のような活動を計画しました。

### 西中スマホ十か条

一 指先一つで変えられる未来 (生徒会執行部)	二 「がまんせい」スマホの時間考えよう (学級)	三 工どくせいの勉強の仕方を教えて (学習)	四 「もうちよっと」その一言が依存症 (生活)	五 スマホストップ 自分の心を整備せよ (整備)	六 スマホより 身の安全に目を向けて (保健)	七 スマホより 体動かせ 中学生!! (体育)	八 わからない スマホ使わず 辞書をひけ (図書)	九 スマホ置き 家族みんなでいただきます (給食)	十 やめようね ながらスマホは事故のもと (交通)
----------------------------	-----------------------------	---------------------------	----------------------------	-----------------------------	----------------------------	----------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------

### ①ライン上でのトラブルを題材にした動画の作成

ライン上でのトラブル事例を考えて物語をつくり、それを自分たちで演じた動画を作成し、全校に上映することで、トラブルを未然に防いだり、巻き込まれたりしないように呼びかけを行いました。

### ②「西中スマホ十か条」の作成

生徒がネットモラルを意識してスマホを使用することができるよう、各種委員会ごとに1つずつ標語を考えました。そして、生徒手帳に挟んでおき、いつでもそれを見ることが出来るように、それらを名刺の大きさのカードに印刷し、全生徒に配布しました。

これらの取り組みを通して、西中学校の生徒が便利なスマホを使って、他人を傷つけないというネットモラルを身につけてほしいと思います。

## 青少年を育てる会

～地域の自然と歴史を満喫した～



# 『ふれあいウォーク』

11月19日(土)、前日から降り続いた雨も何とか開会までには上がり、予定通り『第14回ふれあいウォーク』を開催することが出来ました。

酒津散策(酒津榎窯・とら醤油・済興寺・ビオトープ)とクラレ記念館を見学するAコース。倉敷大橋架橋に伴い渡船が廃止になったため、昨年までの水江の渡しコースに代わり、倉敷大橋を渡り洗浄岩を回るBコース。ぶらぶら酒津散策をするCコース。約550名が希望する3コースに分かれて地域の文化に触れ、地域の方々と交流しながらウォークラリーを楽しみました。

「お餅つきがなくなって寂しい」「うどんの量が足りなかった」「歩くだけでなく、スタンプラリーなどがあればもっと楽しめる」等の貴重なご意見も頂いたので、次回に反映していきたいと思えます。ご参加・ご協力くださいました皆様方、本当にありがとうございました。

### 【参加者の感想】

- 初めての参加でしたが、生徒と一緒に楽しくウォーキングが出来ました。倉敷大橋を渡り洗浄岩までのコースは、酒津用水、高梁川の流れ、秋枯れの山道、水島も臨む山頂からの眺め、美しい竹林と変化に富んだもので、雨上がりのしっとりとした空気が清々しくリフレッシュ出来ました。地域の自然と歴史に触れられる貴重な機会をありがとうございました。
- 長すぎず、ちょうど良い距離だったので、秋を感じながら楽しく歩くことが出来ました。ビオトープで蛍の幼虫を見て説明してもらったのがとても良かったです。
- 以前3kmコースに参加しました。子どもがまた参加したいと言ったので、今回は5kmのAコースに挑戦しました。いつもは車からしか見たことのないクラレ研究所なども見学が出来てよかったです。紅葉を見ながら歩け、とても気持ちよかったです。

## 人権教育講演会 **原発が奪った私たちの暮らし**

1月22日(日)、津軽三味線奏者の蝦名宇摩先生をお招きして、第2回人権教育講演会を行いました。

蝦名先生は16歳まで奄美大島で島唄を聴いて育ったそうです。上京後、津軽三味線に出会い感動し、津軽三味線の名手に師事されました。

2011年3月の東日本大震災で、福島原発事故の放射能の影響を恐れて埼玉から各地を転々と母子避難し、最終的に岡山へ移住されました。

岡山で「せとうち交流プロジェクト」という保養団体を設立して、福島子どもたちを招き、海遊びやライブなどの支援を行っておられます。岡山への移住者は増え続けていますが、住居や職探しが大変で待機児童も多く、母子で避難して来ても定住が難しいとのこと。写真と共にわかりやすくお話をしていただき、移住者の現状を知って、私たちに何ができるのかを今一度考えなくてはいけないと感じました。

後半のライブでは、娘さん2人と民謡や島唄を演奏してくださいました。参加者は、津軽三味線の力強い音色、歌声、合いの手、民謡太鼓のリズムに聴き入っていました。最後の即興演奏では、様々な奏法で奏でられる音に圧倒され、会場は大きな拍手と共に感動に包まれました。

